教区新報 HOYOG

'98 RENNYO-SHONIN BIG FESTA 500

発行所 浄土真宗本願寺派　兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通８丁目１番１号
（本願寺神戸別院内）
電話 神戸（078）341－5949㈹
〔編集〕教区基推委広報部

1997. 6. 114号

「医療と仏教の出会い」

姫路で教区仏壮大会

兵庫教区仏教壮年連盟では、第二十三回総会、姫路・西播大会を五月二十五日、組長、元理事長及び教化団体代表の方々のご臨席のもと、童謡の龍野市総合文化会館で、ご本願を仰ぎお念仏を心の依りどころとした同信の朋が遠近各地から六五〇名が集い盛大に開催いたしました。

開会式は、同館の赤とんぼホールで行われ、揖龍西組仏壮副会長の柴原正行氏が調声、全員で重誓偈を高らかに唱和した。続いて、理事長より「今こそ仏教壮年が自らの殻を破り、親鸞聖人のみ教えを全国津々浦々に伝えられ、当時の社会に多大な影響を及ぼされたイノベーションの先駆者、蓮如上人のごとく、私達仏教壮年が立ち上がり、勇気をもって変革し、一人一人が強く仲間意識と連帯感をもって、本願を究極の依りどころとして生きられた親鸞聖人に学び、念仏の輪をまずは家族から、そして我が教区へと広げようではありませんか。」と挨拶し、高橋廣爾教務所長、増井浄見赤穂北組長（西播ブロック長）の両師から心温まるお言葉をいただき、来賓ご紹介、仏教壮年の歌と開会式を終了しました。

会場をうめつくした仏教壮年

総会は、平成八年度事業報告・会計報告、平成九年度事業計画案・会計予算案が審議され、満場一致で承認。理事長のさらなる仏壮単位会の拡充を推進し、組織強化に努め常に念仏の生活を心がけようと力強い言葉で総会を終えた。

昼食時間に「東歌舞踊劇団、播州音頭龍野市今市保存会」の演芸が披露された。

午後は、総合人間研究所長・元堀川病院院長の早川一光師から「医療と宗教の出会い」と題して基調講演をいただき、「人は生まれた限りいろんな病を持ちそれを乗り越え年をとって別れ（死）ていく。釈尊はすでに三千年前に人間の生老病死の四苦の苦悩の解決をされた。医者は人間の苦痛はとることができるが苦悩を救えない、それを救うものこそ宗教ではないか。」と話された。

閉会式には、副理事長の田中忠雄氏が挨拶。仏壮未結成寺院への結成促進を約束して閉会した。

（仏教壮年連盟理事長　出田　求）

「あれは夢だったのか……」。平成七年度の仏教会便りの冒頭である。その寺は震災前、欅造りの本格的な寺院建築で本堂庫裡を落成したばかりであった◆あの大震災から早や二年半が過ぎた。恐ろしくつらい日日であったが水の大切さ有り難さ、人の親切や温もり等を体験させてもらった。ここに紙上をかりてお礼を申し上げたい◆被災の大きかった神戸西組であったが、本堂落慶法要を数ケ寺が行った。しかし都市計画等で先行きが見通せない方々がまだまだおられる。にもかかわらず最近世間では震災が風化されつつあることを非常に遺憾に思う◆十年来門徒と共に妙好人の地を訪ねてきた。妙好人といわれる人は氷山の一角で、その底には数多くの念仏者がおられ、苦難の人生を生き抜かれてこられた方だと、ゆかりの寺の住職から聞かされた◆今年も被災したわれわれの心の励みになろうかと思いつつ大和・奈良の地を訪ねてみたく思っている。

（池谷　正信）

教区だより　6・7月

15日（日）～16日（月）
別院永代経法要　谷川秀一師　1時半
17日（火）
兵庫教区蓮如上人500回遠忌法要財務部会　2　時
18日（水）
門推結成十周年記念行事実行委員会　10時半
教区・別院会計監査　10　時
19日（木）
基推委企画常任委員会　10時半
20日（金）
兵庫教区蓮如上人500回遠忌法要総務部会　10時半
別院責役・総代会　4　時
22日（日）
江並教堂永代経法要　竹内俊之師　江並教堂
23日（月）～24日（火）
第３ブロック布教使研修会　鷲森別院
25日（水）
連研のための研究会　10時半
26日（木）
布教団総会・研修会　10時半
29日（日）
東播ブロック仏壮研修会　多可組正福寺
30日（月）
組同朋講座講師団研修会　1時半
2日（水）
第４回地方選挙管理委員会　5時半
選挙会（僧侶宗会議員）　6　時
5日（土）
第一土曜仏教講座　寺本正尚師　1時半
7日（月）
教区会（門徒宗会議員選挙）　別　院
8日（火）
寺婦研修会　10時半
10日（木）～11日（金）
近同推寺婦研修会　滋賀教区
13日（日）
蓮如上人夕べの集い　旭堂小南陵一門　4　時
14日（月）
兵庫教区蓮如上人500回遠忌法要　10時・2時
15日（火）～16日（水）
別院常例法座　杉本昭典師　1時半

ハートとリボン

――神戸に生きた愛妻の記――

著者　沼田茂生

一九九五年一月十七日、阪神・淡路大震災は、前日東京から里帰りした著者の妻の宏美さんと娘の華奈さんのいのちを奪った。

宏美さんは神戸に本社をおく中堅アパレル企業「モンテオヴェスト」の代表取締役社長で、一九八六年に妹の山西真理さんと設立以来、順調に事業を拡張していた。お寺に生まれ（神戸湊組光明寺山西宏昭住職の長女）お寺の保育園「ルンビニー愛児園」の中で育ち人に対する優しさと思いやりを備えながら、一面仕事に関しては「スーパーウーマン」と人は称賛する。

「私は、ずっと行きっぱなしの宏美と華奈を一人で待っているようだ。」「ふたりの立ち去り方は、日常的感覚に戻った今から考えると余りにも非日常的で、いまだに夢を見ているようです。宏美と短い一生を終えた華奈を活字に刻印してやらなければ、私の務めは終わらないという気持ちです。」と著者の悲しみ醒めやらぬ切実な気持ちが語られている。「悲しみの大きさは、贈られたものの大きさである。」と……

夢中で読んでいると、文字が涙でかすんでしまう。電車の中では少し読み辛いですね。でも、一度は読んでおきたい本です。

（B6判三百十四ページ定価二千六百円。織研新聞社。一九九七年六月二日発行。光明寺でも取り次ぎます。☎〇七八－五七五－三九一〇番）

コンピューター7台を導入

兵庫教区教化センターでは、事務繁忙の簡素化をはかるため、コンピューターを七台導入しました。機種は、PC－98で教区内寺院名簿、別院納骨所、別院門徒名簿、教化センター会場、教化関係など、多種にわたって管理することができます。

仏婦連盟（木村久子委員長）では、単位仏婦の役員任期満了に伴い「役員任命申請書」の提出を呼びかけています。

申請に基づき総裁辞令が交付されますが、今、職員の山崎泉さんは、これをコンピューターで処理しようとキーボードと格闘しています。印刷するまでの入力にやや時間がかかるが「何分にも数が多いので、あと少しでお届けできます。しばらくお待ちください。」と。

北村、安井さん別院副輪番に

四月一日付人事で、兵庫教区教事務所賛事・本願寺神戸別院参勤の北村昌康さんが、本願寺神戸別院副輪番に、また同日付で、兵庫教区教事務所賛事・本願寺神戸別院参勤の安井秀顕さんが、本願寺神戸別院副輪番にそれぞれ就任されました。

北村師の所属寺は、兵庫教区多紀組金剛寺で、安井師の所属寺は、兵庫教区養父組願照寺です。

敬弔

山内　文さん（やまうち・あや＝北摂組正行寺前坊守）五月二十一日、九十二才で往生。葬儀は五月二十三日、正行寺で。「慈照院釋尼圓修」。

小村澄子さん（こむら・すみこ＝姫路東組宝量寺前坊守）五月三十日、七十六才で往生。葬儀は六月二日、宝量寺で。「寂静院釋尼澄信」。

7月14日に教区法要

蓮如上人五百回忌に向け

平成十年三月十四日から十期百日間にわたる本山での蓮如上人五百回遠忌法要を控え、教区や組や寺院での取り組みが行われているが、教区では「兵庫教区蓮如上人五百回遠忌法要」を来たる七月十四日に神戸別院で開催する。

この法要はご門主が、平成四年一月十六日に「蓮如上人五百回遠忌法要についての消息」を発布されたご意思を体し「蓮如上人五百回遠忌総合計画」の趣旨に則り「地方における蓮如上人五百回遠忌修行基準条例」の規定に基づいて営むもので、この法要の意義と成果を明年の本山法要に結集し新しい宗門の時代を切り開く礎となることを期し、寺院・組・教区のご法義の繁昌、活動の活性化を強力に推進していくことをねらっている。法要のテーマを「変革（イノベーション）」キャンペーンテーマを「環境」「家族」とし、また、記念行事として「蓮如フェスタ　イン　兵庫」と題して数々のイベントを計画している。

教区では、四月二十四日に法要委員会を、五月十三日には法要実行委員会を開催し、部会構成を決め教区法要の大綱と記念行事の概要を協議した。

実行委員は、全組長、法要委員、全教区基推委員、教化団体長等で構成し、実行委員長に高橋所長、副実行委員長に田中法劔師（神戸湊組光明寺）、山本宣昭師（淡路組萬行寺）、久堀弘義師（神戸湊組行願寺）、山崎一朗師（出石組正福寺）の四名。また委員会に四部会制をとり参拝部会は、教区法要及び記念行事について規模に応じた参拝動員とそれに付随する施設、接待に関することを協議し、部会長に松島法城師（多紀組専福寺）、副部会長に出田求師（揖龍西組一行寺）が当る。広報部会は、教区法要及び記念行事についての広報活動に関することを協議し、部会長に増井浄見師（赤穂北組浄蓮寺）副部会長に寶池龍祥師（多可組正福寺）が当る。財務部は、教区法要及び記念行事についての財務上必要なことを協議し、部会長に森本信行師（阪神西組萬照寺）副部会長に池谷正信師（神戸西佛心寺）が当る。法式部会は、教区法要及び記念行事の儀式・荘厳等に関することを協議し、部会長に光森龍樹師（神明組安養寺）副部会長に中村信之師（神戸西組浄行寺）が当る。

各部会では、教区法要を間近に控え、数回にわたり細部の協議が繰り返されている。

教区法要は、七月十四日午前十時からと午後二時からの二座で、各千名の参拝者を見込んで組別に全寺院に割り当て参拝をお願いしている。また、午前は三十九名、午後は四十二名の出勤法中の依頼と法要懇志を一寺四千円の依頼をしているが、いずれも組長事務所を通じていただくことになっている。

法要日程は、両座とも参拝者入堂のあと法要の意義を訴え、差定はこの度新たに制定された「奉讃蓮如上人作法」を中心にしたお勤めを高橋輪番導師のもと修行し御文章の拝読、ご法話と続く。ご法話の講師には本願寺派勧学の梯實圓師（大阪教区阿倍野組廣臺寺）にお願いしている。

記念行事として次の通り計画をしている。

「蓮如上人夕べの集い」七月十三日（日）別院で旭堂小南陵一門による講談。

「特別講演会」七月十七日（木）別院で龍谷大学教授の福間光超師の講演。

「布教大会」七月三十一日（木）別院で教区布教団による布教。

「キャンペーンテーマ研修会」八月二十五日（月）別院で本山法要行事部長の本多隆朗師の講演。

「特別講演会」八月二十五日（月）別院で作家の五木寛之さんの講演。

「布教大会」八月二十八日（木）姫路西組本徳寺で教区布教団による布教。

「蓮如上人に学ぶ」八月二十八日（木）姫路西組本徳寺で本願寺史料研究所長の千葉乗隆師の講演。

「第二回兵庫教区御同朋総結集大会」十月二十四日（金）－二十五日（土）神戸国際会館ハーバーランドプラザで開催。

ご門主さまから蓮師関係書

ご門主さまから神戸別院にご寄贈のありました蓮如上人関係図書を随時貸し出ししております。お気軽にお申し出ください。

「蓮如　再興と伝道の生涯」　今田法雄
「蓮如上人御一代記聞書に学ぶ」　井上善右衛門
「蓮如上人御一代記聞書講話」　藤沢量正
「蓮如物語」　五木寛之
「蓮如」　笠原一男
「親鸞聖人と蓮如上人」　稲城選恵
「蓮如語録に聞く」　大原性実
「蓮如さん　門徒が語る蓮如伝説集成」
「吉崎御坊の歴史」　朝倉喜祐
「蓮如の生涯」　豊島学由
「蓮如　北陸路を行く」　朝倉喜祐
「蓮如さま　絵で見るご生涯」　山口教区基幹運動
「蓮如のすべて」　早島鏡正
「不滅の人・蓮如」　笠原一男
「蓮如上人御一代記聞書に学ぶ　耳なれ雀の仏教」　高松信英
「蓮如入門」　加藤智見
「私たちの蓮如さん」　稲城選恵
「蓮如さん　日本人に本当の宗教を知らせていただいた高僧」　稲城選恵
「蓮如上人のお言葉」　藤田徹文
「蓮如上人　生涯とその教え」　鎌田宗雲
「蓮如上人一人一話」　仏教文化研究会
「蓮如　われ深き淵より」　五木寛之
「御文さま　真宗の家庭学習」　高松信英
「蓮如のみち」　細川行信
「蓮如上人　親鸞聖人の教えに生きた人」
「蓮如上人の生涯と教え　真宗再興の人」　大谷派教学研究所
「蓮如上人の目指した地平」
「蓮如上人ものがたり」　青木　馨
「蓮如上人御一代記聞書讃仰」　細川　厳
「それぞれの蓮如さま聞書」　北原　光
「意訳御文章」　木津龍尊
「御文章の味わい」　井上啓一
「蓮如上人と現代」　吾勝常晃
「蓮如上人と「御文章」」　鎌田宗雲
「蓮如上人聞書読本」　加藤教順
「蓮如上人」　岩見　護
「まんが　蓮如さま」　丹波　元
「わかりやすい名言名句　蓮如上人のことば」　稲城選恵
「現代の聖典蓮如　五帖御文」　細川行信　村上宗博
「現代の聖典蓮如上人御一代記聞書」　細川行信　村上宗博
「御文講座　御正忌の御文」　渡辺晃純
「御文講座　聖人一流の御文」　澤田秀丸
「白骨となれる身」　澤田秀丸
「御文講座　末代無智の御文」　和田真雄
「真宗入門　御文に学ぶ」　田代俊孝
「蓮如の生涯　たのしい絵と文による伝記」　東澤眞静
「蓮如上人御一代記聞書　如来の眼・私の眼」　高松信英
「蓮如上人帖外御文ひもとき」　西山邦彦
「蓮如大系」　梯實圓　名畑崇　峰岸純
「蓮如上人五帖お文こころえ」　西山邦彦
「ビデオ　蓮如さま　上巻」
「ビデオ　蓮如さま　下巻」
「光をかかげて　蓮如上人とその教え」　梯　實圓
「聖典セミナー　御文章」　宇野行信
「蓮如さま　本願寺絵本シリーズ」　緒方倫子
「蓮如上人　その教えと生涯に学ぶ」　浄土真宗教学研究所
「蓮如上人聞書新釈」　梅原真隆

「門推の十年」で座談会

HO日誌

◆5月3日＝播磨中組教覚寺本堂修復・庫裡新築慶讃法要に高橋所長が達書伝達◆第一土曜仏教講座を別院で。講師は高橋廣爾神戸別院輪番。テーマは「まなざしをむける」◆7日＝別院仏婦定例法座。講師は和田宏之師（揖龍東組源徳寺）◆別院・教化センター完成記念法要準備委員会を別院で。経費の報告と準備委員会の閉鎖◆基推委常任委員会を別院で。総会内容を協議◆7日～8日＝連研教区代表者会議が本山聞法会館で。教区から長澤弘之師（阪神東組覺円寺）と竹内担当者が出席◆8日＝近畿地区仏婦大会打合せ会を別院で◆8日～9日＝住職総参拝研修について事前協議会が本山聞法会館で。教区から富永眞哉師（佐用組浄宗寺）と近藤教区相談員が出席◆9日＝保育総会を別院で。本年度の事業を協議◆10日＝建部隆生さん（神戸湊組善照寺）と岡村秀子さんの仏前結婚式が別院で。高橋輪番が司婚◆モダン寺土曜子供会を別院で◆神戸湊組連研が別院で◆11日＝門推総会・第26回研修会を別院で。講師は高橋廣爾教務所長◆大分教区大海組より別院に団体参拝◆12日＝安芸教区広陵東組安楽寺より別院に団体参拝◆赤穂南組総代会研修会に高橋所長が出講◆13日＝基推委総会を別院で◆教区蓮如上人五百回遠忌法要実行委員会を別院で◆13日～14日＝教区ビハーラ代表者研修協議会が本山で教区から前田正子さん（阪神東組源正寺）と長尾担当者が出席◆14日＝寺婦委員総会を別院で◆15日＝別院常例法座・降誕会。講師は太田唯念師（播磨中組西念寺）◆本山降誕会園児の集い◆職員会議を別院で◆16日＝別院常例法座◆18日＝KOBE夕暮れコンサートINモダン寺を別院本堂で。復興支援の会（前川文代表）が主催して開催。約二百五十人が集まり、弦楽四重奏でモーツアルトやチャイコフスキー等のクラッシック音楽を楽しんだ◆19日＝地方選挙管理委員会を別院で。委員長は廣瀬照晴師（神戸中組光尊寺）委員長代行は近藤文郷師（佐用組光福寺）委員に内海鴻洋師（新宮組心光寺）大野栄美夫師（神戸東組専念寺）大西賢治師（多可組正福寺）の五名で予備委員に波多正響師（阪神南組正光寺）北村廓隆師（加古川組善照寺）望月康喜師（岡山南組西願寺）森川義治師（揖龍東組源徳寺）中尾勝師（氷上西組照徳寺）の五名◆20日＝長島愛生園・邑久光明園降誕会に高橋所長が出向◆22日＝鹿児島教区南隈組願生寺より別院に団体参拝◆23日＝近同推総会・研修会が本山で◆24日＝堀晃新さん（熊本教区芦北組西念寺）と宏林寿子さん（阪神南組浄元寺）の仏前結婚式が別院で◆神戸中組連研が別院で◆阪神東組門徒教区会議員補欠選挙が福円寺で行われ高谷彦三郎氏（安楽寺）が当選◆25日＝仏壮第23回総会、姫路、西播大会を龍野市総合文化会館で◆多紀組尊宝寺本堂修復落成慶讃法要に高橋所長が達書伝達◆和歌山教区善照寺より別院に団体参拝◆26日＝門推結成十周年記念行事実行委員会総務部会、企画部会、編集部会、財務部会、十年を振り返る座談会を別院で。座談会の模様を記念誌に掲載予定。高橋所長、富永眞哉師（佐用組浄宗寺）、中西正一前会長、桑田勇会長を中心に編集部員、竹内担当者を交えて座談を進める◆27日＝少年役員会を別院で◆近畿寺婦協議会が津村別院で。辻岡武子委員長と尾井担当者が出席◆仏婦三役会を別院で◆27日～28日＝門推代表者会議が本山で。桑田勇会長が出席◆28日＝教区蓮如上人五百回遠忌法要実行委員会総務部会を別院で◆29日＝ビハーラ兵庫総会を別院で◆兵庫県教誨師会総会・研修会が市内の生田神社で◆30日＝基推委企画常任委員会を別院で◆布教団副団長会議、役員会を別院で◆大阪教区大阪北組坊守会より別院に団体参拝。

夏服の女子職員

重油流出事故 義援金

義援金が教務所に続々と届いています。平成九年五月一日から六月十日までを掲載させて頂き紙面をかりて厚く御礼申し上げます。

尚、六月十日現在で義援金総額四百六十五万二千七百十四円をお寄せいただきました。（受付順・敬称略）

▽北摂組元炤寺五千円▽高砂組光照寺一万円▽神崎組圓照寺一万円▽神崎組教願寺一万円▽揖龍東組正覚寺仏教婦人会三万円▽播磨東組報恩寺一万円▽神戸湊組高松寺一万円▽北摂組正覚寺一万円▽播磨中組光福寺五千円▽和歌山教区仏教婦人会連盟三万円▽揖龍西組光善寺一万円▽佐用組法覚寺一万円▽揖龍西組圓覚寺一万円▽岡山北組長泉寺一万円▽阪神北組光圓寺一万円▽神崎組教正寺一万円▽養父組専勝寺二万三千円▽神崎組金剛寺一万円▽高砂組玄長寺一万円▽高砂組善行寺一万円▽神明組専福寺一万円▽阪神北組円行寺一万円▽神明組憲應寺一万円▽加古川組西福寺一万円▽宍粟組西光寺三万円▽氷上西組西往寺五千円▽朝来組浄願寺一万円▽赤穂北組教専寺一万円▽神戸中組教秀寺一万円▽神明組來光寺一万円▽岡山北組大雲寺一万円▽宍粟組妙福寺一万円▽北摂組照願寺門徒中一万円▽揖龍西組超念寺二万円▽阪神北組大林寺一万円▽北摂組光澤寺一万円▽淡路組蓮光寺一万円▽神崎組光明寺一万円▽神明組光源寺三万円

訂正とお詫び

前号（五月号）の掲載の中に誤記がありました。訂正してお詫び申し上げます。（敬称略）

▽阪神西組報徳寺二万円
▽氷上西組西光寺五千円

阪神・淡路大震災 義援金

教務所へ届けられたもの平成九年五月一日から六月十日までを掲載させて頂き紙面をかりて厚く御礼申し上げます。（義援金総額九億千七百四十四万二千九百七十五円）

（受付順・敬称略）

▽安芸教区廣陵東組安楽寺九万円▽大阪教区南郡組無量寺二万七百十円▽城崎組西楽寺二千二百五十七円